

復刊

いざみ



所沢図書館だより
復刊5号(通巻83号)
題字 高橋 玄洋 氏

目次	
P.1-3	椎名誠講演会 「未来にまで持っていくもの」
P.4	図書館活用法 ～対面朗読～
P.5	トベアの分館めぐり
P.6	ボランティア登場

未来にまで持っていくもの



平成 25 年度図書館文化講演会
平成 25 年 9 月 6 日 (金) 午後 2 時～4 時
所沢市役所 8 階大会議室

9月に行われた文化講演会のご報告です。
椎名節をご堪能ください！



こんにちは、椎名誠です。
久しぶりに所沢に来ました。
昔、小平に20年ほど住んでいて、今は都内にいます。

今日は車で来たのですが、渋滞の中を中央道で行くか、関越を使うか迷っていたら、関越がいいということ、関越で来ました。

昨晩は、アイスランドに行く打ち合わせで、銀座で飲んでいました。アイスランドは、寒い国です。アイスランドというくらいですから。人口が、所沢と同じ34万人です。広さは、北海道と九州を合わせたぐらいです。漁業が盛んで、火山が多く温泉も多いです。のんびりした良い国です。

私はいろいろな国に行っていますが、国によって、人口密度、産業、気質、ずいぶん違います。その異文化に面白さがあるので。

日本は、他の国と比べると、さうとう変なところがある国です。

す。良い国だが変なところもある。原発の汚染水問題など、日本では報道されていないニュースが、他国では報道されています。

先日、インド人と飲みました。日本の企業に就職したIT技術者です。空港に着いた途端、彼は驚きました。空港で機関銃を持っている警備員がいない。アジア、中東、南米では普通にあります。空港の掃除も行き届いていません。空港内の明かりも明るすぎるほどです。そして、何より驚いたのは、自分の後ろにトランクを置いて、カウンターで手続きができるということ、インドなら目を離れた隙に盗られます。電車の中では、網棚に荷物を置いて寝ていたり、スマホをやってる日本人の姿があります。実に危機管理が甘い国です。逆に言うと平和な国ですが、幼稚でまぬけな国ともいえます。

良いところも彼には驚きです。リムジンバスの席にはつぎはぎもなく虫もいません。エアコンも効いています。ホテルの洗面所には、歯磨きセットなどが、

きちんと平行に置いてあります。日本人の几帳面さに驚きました。

2〜3日して、ホテルから会社が紹介してくれたマンションに移りました。そのことを故郷の母親に伝えると、「お付きのものは何人か」と聞かれたそうです。もちろん、お付きの人はいません。そして、彼は、日本のワンルームマンションに驚きました。ワンルームのマンションというと外国では一部屋が、体育館ぐらいのスペースなのです。

別の機会に、デンマーク人と銀座で飲み、並木通りを歩いていると、酔っ払った4〜5人のご老人集団とすれ違いました。デンマークの彼は、「あの中でガードマンは誰か」と聞きました。外国では、酔っ払いだけで歩くということはありません。酔っ払ったら、外を歩かないのが普通です。無防備だからです。

若い女性の夜の一人歩きも日本ならではのことで。外国なら、ひったくりや犯罪に巻き込まれますから、無防備の最たるものといえます。こんなことができるのは、日本ならではのことで。

「未来にまで持っていくもの」



というテーマを、日本人の住環境から考えてみると、日本は、国民皆水道であること。つまり、国民ほぼ全員が水道を使えるということ。アメリカでも全部の家に水道があるわけではないのです。広すぎて完備していないのです。ロシアなどは、水を溶かしてお湯を作り、径50センチの鉄管を通して運びます。家に着くころには、水になっっていますが、錆とカビの匂いでとても飲めたものではありません。川に近い街では水を切り出して家の庭に置いておきます。それを溶かして飲みます。

日本では、蛇口をひねればおいしい水が出ます。それなのに、ペットボトルの飲み水を買っています。

日本には、3万5千本の川があります。小さいけれど本数が多い。アマゾン川は、河口が400キロあり、7千キロの大河ですが、堤防がありません。すぐ壊れる。ダムも上流部にあるだけで、ないに等しいです。外国では、川の使い方が違うと思います。中国も水問題が深刻です。なんでも捨てる。家まで流れてきます。中国政府は、250万都市を強制撤去してダムを造りました。日本は、原発の汚染水を垂れ流していますが、中国では250万都市のトイレや病院の薬品などもゴミとして、ダムに流れているということです。

中国政府は、チベットの六大河川の源流を、地底バイパスを作り運ぼうとしています。また、日本の北海道や東北の山林を買い占め、山林をボーリングして、日本の水を運ぼうとしているのです。

例えば、ネパールは星がきれいです。でも、ネパール人は、星に興味がありません。モンゴルの平原には美しい花が咲いています。でも、遊牧民は花の名前を知らま

せん。興味があるのは、家畜が食べる草です。恵まれすぎていると、それに気が付かないものなのです。日本人の水に対する意識もそういえません。

行政は多額の予算を使いダムを造ります。造るために最初に道路を造るのですが、きたとたんに、業者が産業廃棄物を源流に捨てにくる。川が汚染され問題になったこともあります。

国際河川のコロン河は、チベット、中国、ミャンマー、ラオス、タイ、カンボジア、ベトナムと流れています。工場排水などを流すと下流の国と戦争にもなりかねません。

メコン河沿いの子どもたちは、貧しくても生き生きしています。子どもたちはみんな家事を手伝います。女の子は水汲みです。崖の下まで何往復もして水を運びます。男の子は、手製の銚やパチンコで魚や鳥を獲ります。それが、家族の食事になります。

日本の子どもたちに比べると、幸せだと思えます。生活レベルは低いですが、アトピーや小児ぜんそく、花粉症の子はいません。メコン河は、衛生的ではなく、



寄生虫がいます。当然、子どもたちには回虫やサナダ虫が寄生しています。寄生虫はケミカル性の毒素を排除してくれませんが、だから、病気になるのです。寄生虫博士の藤田紘一郎先生は、病氣予防とダイエツトのため、サナダ虫をおなかの中で飼っています。スーパームデルなども入れているようです。ちなみに、サナダ虫は、自然環境で感染することはないので安心してください。

世界に冠たる衛生すぎる国が日本です。決して良いことじゃない。日本の子どもはアトピーや小児ぜんそくに苦しんでいます。

日本が誇れるのは、夜が安全であるということ、山道も完備されていること、水がおいしいということ、トイレが水洗できれいということ、公園のトイレにもウォッシュレットが備え付けられています。でも、お尻を洗いすぎると常在菌が殺されてしまい、肛門の皮膚を傷めます。

外国には、トイレの下が豚小屋だったたり、湖に垂れ流しているようなところがあります。世界中で、明日どんなトイレで用を足すかわからない人が27億人、飲める水がない人が22億人いるといわれています。

世界の国の中では、洗面器の中にご飯を入れ魚の煮汁などをぶっかけ、家族全員で手で食べる国があります。昔は「貧しいんだなあ」と思っていました。今は「豊かだなあ」と思うようになりました。日本は、家族で各自の食器でご飯を食べることができ、宅配便が一日で届きます。空腹で倒れる人もいません。電車も時間どおりに来ます。でも、道で人にぶつかっても黙ってすれ違います。アメリカは、すれ違うだけでも挨拶します。日本ではレストランなどの食

べ残しは持ち帰りませんが、アメリカでは持ち帰り、最初に会ったホームレスにあげたりします。

モンゴルでは、羊を屠るとき、心臓の下にナイフを入れ、手を差し込んで大動脈を親指で切ります。血で草原を汚さないことと、栄養価の高い血を一滴でも無駄にしないためです。モンゴルでは、肉を焼きません。焼くと油が出てしまうからです。蒸して食べます。ひとつも無駄にしないのです。

北極圏に住むイヌイットも、自然の中のものをうまく利用しています。彼らの主食はアザラシの生肉です。生肉を食べることで、ビタミンを補給しています。最近では、スーパーができ、食生活が変化して肥満が問題になってきました。

富士山が世界遺産になりました。富士登山が増え自然環境にも影響が出てくるでしょう。自衛隊の練習場も樹海も立ち入り禁止にして、眺めているのがいいと思います。

世界遺産ではなく地球遺産として考えて守っていききたいです。

『地球がもし100cmの球だったら』(永井智哉著・世界文化社・2002年刊)という本があります。それによると、水分660cc、そのうち淡

水は17cc、氷河が12cc、飲み水はたったの5ccです。地球の水は巡回していますから、これ以上は増えません。5ccの飲み水を汚染したら私たちの飲み水はなくなるのです。

昔、無線もない島に置いてきぼりになり、毎日雲や波を見て過ごしたことがあります。帰国して家に帰ったら、うちの階段や三角定規、将棋盤、お盆、色紙や額縁がすぐくっつきよく見えました。島には、直線や直角や真円がなかったのです。そういう形は、文化がなくては、作れません。会社や学校には、四角いドアがあり四角い部屋で仕事をしています。

なぜ、人は、旅に出たくなるのか。人工的な直線や真円に長時間囲まれていると視覚的に疲れてくるのです。

旅に出ると、遠い空や風が見えます。人間の心を癒してくれる自然を守り、未来に送り込まなければいけない。それが「未来にまで持っていくもの」だと、思います。

*椎名誠さんの著作は、所沢図書館で所蔵しています。ご利用ください。

対面朗読

（視覚障害をお持ちの方の朗読サポート）



「百聞は一見にしかず」という言葉があるように、視覚は情報を得るために、とても重要な役割を担っています。

視覚障害をお持ちの方、あるいは、自分で本を読むことがかなわなくなったとき、読書の楽しみを諦めてしまうのは残念なことです。

そんな時、「耳で読む」という感覚で読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。図書館では、簡単な手続きで、ご希望の本や雑誌などを代読する対面朗読サービスを提供しています。昭和55年に現在の本館がオープンした当時から行っています。



「ベストセラー小説をいち早く読みたい」と購入した本を持込まれる方、新聞や雑誌を定期的に読まれる方、古典や全集をじっくりと読まれる方など、対面朗読の利用目的は様々です。

本館・所沢分館・新所沢分館の三館には対面朗読室があり、静かな環境で集中して対面朗読を受けることができます。

誰が読むの？

対面朗読に関する講習会を受講し、所沢図書館の採用選考に合格した対面朗読奉仕者（以下、朗読者）が担当します。

現在、所沢図書館では、14名の朗読者が活動しています。対面朗読を長年支えて下さっている経験豊富な方ばかりです。

利用者の希望する図書などを、*初見で読み進めるため、読みが難しい漢字もあれば、発音だけでは誤解を招く漢字も多くあります。文中で使われている漢字の説明を交えて読み進めることや、図表や写真があれば、それを言葉に変えて伝えることもしばしばです。

このため、朗読技術の向上を目指して月に一回「対面朗読勉強会」を行っています。難読漢字や朗読

方法の勉強、視覚障害のある方の著書を教材として、見えない方の気持ちに寄り添った朗読をするための勉強をしています。

朗読できるもの

図書館で所蔵している本や雑誌、新聞のほか、持込みの図書などを読むことができます。

予約が入っている図書は、対面朗読の時間に合わせて取り寄せることが難しいため、予約が無い図書などを中心にご希望を伺ってご用意しています。

また、持込みの資料も、本や雑誌のほか、説明書などは、朗読が可能ですが、ただし、個人情報に関わるものや私的な文書（請求書や手紙など）は、朗読をお断りさせていただきます。

録音資料の貸出

対面朗読の他に、録音資料などの貸出を行っています。ご希望の図書の書名や著者名をお電話でご連絡ください。録音資料などを所蔵している図書館から取り寄せて、ご提供いたします。

利用方法

所沢市に在住・在勤・在学の視覚に障害のある方で、身体障害者手帳をお持ちの方を対象としています。

利用を希望される方は、障害者奉仕利用者登録をしていただきます。お近くの図書館のカウンター、お電話で登録することができます。対面朗読を利用する場合は、利用したい日の一週間前までにご予約ください。

図書館の担当者が、朗読内容と日時を確認し、朗読者に依頼をします。

ご登録、お問い合わせは、左記担当者まで、ご連絡ください。

*初見 初めて見ること



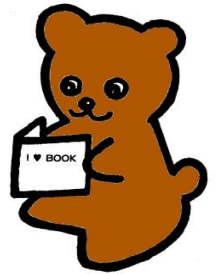
お問い合わせ先
本館 障害者奉仕担当
Tel 04-2995-6311

トベアの分館めぐり

第4回

富岡分館

ぼくは図書館の
マスコット「トベア」です。
4回目は富岡分館を
紹介しま〜す！

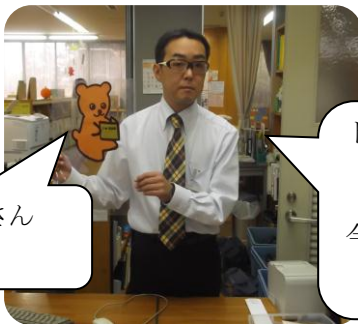


富岡分館【基本情報】

〒359-0007 北岩岡 117-1
TEL04(2943)3636 FAX04(2943)6680
西武バス「西武フラワーヒル」下車徒歩10分
ところバス北路線「富岡公民館」下車



ここが富岡まちづくりセンターの入口です。
階段を2階にあがると富岡分館があります。



米倉分館長さん
こんにちは！

トベアくん、
ようこそ
富岡分館へ。
今日は楽しんで
いってください。



わあー、おおきな くまさんが
おでむかえしてくれたよ。
みんなに大人気の
富岡分館の「トベア」だね。



大人向けの特集コーナー。
テーマに沿った本が
いっぱいならべてあるよ。
訪問した日は、
「本と旅する東京散歩」
でした。

子どもの本の特集コーナー
毎月テーマを決めて展示
しているよ。
なにに「おいしいもの
たくさん」だって！



いつも明るい笑顔の
富岡分館スタッフです。
皆様のご来館を
お待ちしております。

壁や天井の飾りつけを工夫しています。



第14回 図書館まつりを終えて

実行委員として、三回目の経験をさせていただきまし
た。始めは、知人から誘いを
受けて、なにげなく参加した
ボランティアでした。
昨年度は「読書活動の推
進」という目的に寄与するこ
とが出来たらいいなという
思いで参加させていただき
ました。



図書館まつり
実行委員
仲山さん

今年度はボランティア精神
とは何かを少し考えながら参
加したということでしょうか。
「第14回図書館まつり」を終
えての私の感想を要約すれば、
①目的を共にする友人を得た
こと。②チームワークで活動で
きたこと。そして、③奉仕活動
の姿から、お互いに満足と感謝
の心を得たことでしょうか。
私は、読書活動の推進は我々
市民のテーマと位置づけしてい
ます。

対面朗読 ボランティア

対面朗読を始めたのは、約
三十年前に県立川越図書館
で半年間の研修を受けたこ
とがきっかけです。
コンピュータの解説書で
はアルファベットの独特の
読み、コンマ、コロンのなど



対面朗読
ボランティア
金子さん

記号も落さずに読むことなど
最初は戸惑った。一般書では
自分の読むことのないジャン
ルも読むわけで、お陰で読書
の幅が広がった。今は、小説
なども自分の感情を入れるこ
となく、聞き手が自由に想像
できるような内容が伝わるよ
う、正しく音声化することを
心がけている。

お詫びとご報告

復刊いずみ4号(通巻82号)の特集
「子どもイキイキ学校図書館」P.2に
掲載したパネル写真は、学校図書館・
虹の会・所沢(代表・渡辺和子さん)
からお借りいたしました。紹介がな
く大変失礼いたしました。謹んでお
詫びとご報告をさせていただきます。

蔵書点検のお知らせ

所沢図書館では、年に一度、蔵書
点検を実施しています。蔵書点検期
間中は、休館となります。ご不便を
おかけいたしますが、よろしくお願
いいたします。

本館 平成26年2月17日(月)
2月21日(金)
各分館 平成26年2月24日(月)
2月28日(金)

編集後記

- ◆紅葉を心に留めて本の旅(M)
- ◆冬は豆乳鍋がおすすめです。(T)
- ◆慌しく今年も暮れる冬の空(A)
- ◆メタボ要注意月間です!!(S)
- ◆年末年始ものんびり過ごせない
受験生頑張っ!!(I)

編集発行：所沢市立所沢図書館 〒359-0042 所沢市並木1-13
ホームページアドレス パソコン <https://lib.city.tokorozawa.saitama.jp>
携帯電話 <https://lib.city.tokorozawa.saitama.jp/k>
電話 / FAX

本館	04-2995-6311 / 04-2992-1421	富岡分館	04-2943-3636 / 04-2943-6680
所沢分館	04-2923-1243 / 04-2928-8195	吾妻分館	04-2924-0249 / 04-2928-8250
椿峰分館	04-2924-8041 / 04-2928-8148	柳瀬分館	04-2944-4023 / 04-2945-7236
狭山ヶ丘分館	04-2949-1193 / 04-2949-8577	新所沢分館	04-2929-1905 / 04-2929-1906
松井小学校図書館	04-2992-2796 / 04-2992-2797		